

# 助動詞 「たり」「り」

## ◇活用

基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
り	たり	たら	たり	たり	たる	たれ
ら			たり	たり	たる	たれ
り			たり	たり	たる	たれ
り			り	り	る	れ
					れ	れ

## ◇接続

「たり」は連用形接続、「り」はサ行変格活用未然形・四段活用已然形に接続する。

※ 「り」の接続は頭文字をとつて、「サミシイ」で暗記する。

## ◇意味

### ① 完了 「～た」

：動作・状態がすでに終了していることを表す。

例) 子の時ばかりに、家のあたり、昼の明かさにも過ぎて光りたり。(竹取物語)  
(夜の十二時ごろに。家のあたりが、昼の明るさにも増して、光り輝いた。)

### ② 存続 「～ている」

：ある状態が継続していることを表す。

例) 夕日の差して山の端いと近うなりたるに、鳥の寝所へ行くとて  
(枕草子)  
(夕日がさして、山の端に近くなっているところに、鳥が巣に帰ろうとして)

※ 「完了」か「存続」かは、動作動詞に統けば「完了」、状態動詞に統けば「存続」になります。

## ◇「たり」の識別

### ① 完了・存続の助動詞「たり」

↓ 連用形に接続している。訳したときに「～た・～ている」という意味になる。

### ② 断定の助動詞「たり」の終止形

↓ 体言に接続している。訳したときに「～である」という意味になる。